



望° ~ぽう~

2023年 2月発行

29号



令和5年が始まり、あっという間に2ヶ月が過ぎようとしておりますが、今年もよろしくお願い致します。今年、「兎」「卯」「うさぎ」「ウサギ」年です。ウサギの文字の標記にも色々あり、漢字で書く場合、十二支の意なら「卯」、動物の意なら「兎」をあてるのが一般的のようです。また、生物学的には片仮名で「ウサギ」と表記されますし、平仮名の「うさぎ」も含めると、それぞれ違った印象になるでしょう。ところで、兎が登場するお話も多数ありますが、意外とあやふやな月うさぎの存在です。人それぞれ自分の思い込みが強く、誰に聞いても結局はつきりわからないというパターンも多いようです。

それでは、ここでスッキリさせましょう。この右のイラストが「月うさぎ」です。月の模様の黒い部分は「海」と呼ばれる低地。その黒い部分で「餅をついているうさぎ」の姿を見立てているようです。他国では、たとえば 東ヨーロッパ = 女性の横顔、インド = ワニと見立てられているようです。



地球から月までの距離は約384,400km。肉眼で月の表面が見えるわけですから、すごいことですよ。ススキや月見団子を供えてお月見をしたり、仕事帰りに立ち止まって月を眺めたり……。月うさぎに思いをはせながら、冬の澄みきった空の月を愛でてみてはいかがでしょうか。コロナの状況は、収束を見ませんが、ウサギのように跳ねながら心にはゆとりを持ちたいものです。

センター長 石橋美恵子

研修会・啓発事業のご報告

ウィッシュでは、昨年度に引き続き今年度もYouTube等にて下記の研修を実施しました。多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。一部抜粋ですが、皆様からいただいた感想をご紹介します。

発達障がい基礎講座

🌸 配信日：令和4年6月24日（金）～7月25日（月）

🌸 開催方法：YouTube 動画配信

🌸 演題・講師：

① 乳幼児期講座・『発達障がいについて～医療との連携～』

— いいクリニック 理事長 石井 尚吾氏 —

② 学齢期講座・『改めて発達障害とは』 『今を見つめ未来を見出すアセスメント』

『学齢期に大切にしたいこと』

— まなび舎ぽっと 公認心理士 峠 優子氏 —

③ 青年・成人期講座 『青年期・成人期の就労支援』

— 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 島根支部

島根障害者職業センター 所長 山本 英毅氏 —

🌸感想：

①乳幼児期

- 事例からも本人に合った（学び場の選択を含めた）環境調整をすることで本来の力を発揮すること、さらに力をつけていくことに繋がるのだなと思いました。
- 薬は補助的で環境調整の必要性が重要ということを確認しました。
- 個性的な行動が「個性」になるのか、社会生活上の「障がい」となってしまうのか…。個性を早期に知った上で、望ましい行動を促進し二次障がいの予防と軽減を図ることが重要なことだとよく分かりました。

②学齢期

- 周りの理解・環境が大切なのだと感じました。学齢期に必要な自己選択、自己決定を経験できるような支援を伝えていけたらと思いました。
- 成功体験がステップアップする原動力であること、そのためには「ありがとう」「嬉しかったよ」等、ポジティブな声かけが大切であることが分かりました。
- “学齢期＝守られた環境＝失敗しても良い”と言うお話がその通りだなと思いました。失敗していいよと言うメッセージを伝えながらセルフアドボカシーを育てていきたいと思います。

③青年・成人期

- どんな仕事でも理解と支援を得られる環境があれば、やりたい仕事に挑戦できるかもしれないと思います。障がいや特性をオープンにしても思うように働ける場があり、活躍できる職場が増えるような社会になる努力をしていかんといけんと思いました。
- ナビゲーションブック（自分自身の取扱説明書）は、アレンジすることで中学校の学習にも活用できそうだなと思いました。
- 小学生であっても将来社会に出て働く大人になるために今どうしたらいいかを保護者を含めて考えていけるようになりたいと思いました。

障がい児・者支援者研修会

🌸配信日：令和4年7月14日（木）～7月28日（木）

🌸開催方法：YouTube 動画配信

🌸演題：ゲームやネット依存傾向にある児童や生徒への対応について

🌸講師：久里浜医療センター 主任心理療法士 三原 聡子氏

🌸感想：

- 当事者をおどすというやり方ではなく、心を開くような声かけできっかけをつかんでいくというアドバイスや、日々の関わりの中で情報収集をしていくことが大切であることを学びました。
- 依存症も引きこもりも、世界を広げる要因は現実世界の自分と真っ直ぐ向き合い、他者と直接にしる、間接的にしる、関わっていくことが重要だと、しみじみ感じました。
- 学校でできる支援の1つは、この『リアルの生活での達成感や充実感』をしっかり大きくすることだと改めて感じました。



学習障がい(LD)のある方への支援を学ぶセミナー

🌸配信日：

- ①支援者向け 令和4年8月1日(月)～8月15日(月)
- ②保護者向け 令和4年9月12日(月)～9月26日(月)

🌸開催方法：YouTube 動画配信

🌸演 題：支援者向け『アセスメントこそが大事 ～科学的視点から支援を考える～』
保護者向け『子育てで大事にしたいこと ～発達障がいの視点を子育てに生かす～』

🌸講 師：広島県廿日市市教育委員会 山田 充氏

🌸参加者感想：

①支援者向け

- 支援の『方法』をあれこれ試しているうちに『失敗経験』を積み重ねてしまっている…という言葉にハッとしました。子どもの特性(実態)は1人ひとり違うからこそ、アセスメントをしっかりと行って『その子』に合った(合う可能性の高い)方法で支援していくことが大事だと学びました。
- 本人を困らせているのは私たち支援者に原因があることもあるということが衝撃的でしたが、思い当たるところもあり、しっかりと学ばなくてはと思いました。
- できないことに対しては、ゆっくり丁寧に教えたらいと思いついていたので、要因から考える具体的な取り組み方がとても勉強になりました。
- 子どもの顔や様子を思い浮かべながら受講しました。支援学級だけでなく、通常学級の担任、学校全体に共有したいと思いました。

②保護者向け

- 『言葉を育てることが大切』、『手指の発達をうながすことが大切』、『数の概念を育てることが大切』、『抑制する力を育てることが大切』とポイントを整理して具体的に有効な取り組みを教えてくださいました。
- 叱ることよりも褒める事で育つことを感じた。
- 『行動する前の注意喚起 — できたら褒める』これを意識しながら抑制する力をつけることのお話も参考になりました。

早期支援体制づくり研修

🌸配信日：令和4年10月30日(日)

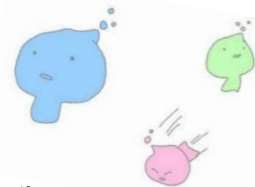
🌸開催方法：Zoomにてオンライン参加 / YouTubeを利用したライブ配信

🌸演 題：発達障がいの特性からみる乳幼児期の支援で大切なこと～家族と支援者で一緒に育てていくために～

🌸講 師：川崎医療福祉大学 准教授 諏訪 利明氏

🌸参加者感想：

- 専門家の言葉や反応で当事者家族が傷つき、専門家に拒否感を抱くことがよく分かった。家族と寄り添う姿勢で、その子より良い育ちを支えていきたいと思った。
- 支援を必要とする子をもつ親の気持ちとして『オランダへようこそ』を初めて知り、なるほどこのような気持ちなのかと、とても納得できました。家族を理解して良い関係を作り、地域の中で周囲との様々なつながりの中で育てていくことが必要であることがよく分かりました。
- 子どもの発達、タイプに合わせて教え育てていくことで脳が育ち、子どもが成長するという内容の話に改めて納得しました。しっかり自分が学んで担任の子に伝えていけたらと感じました。



発達障がい支援フォーラム 2022

🌸 配信日：令和4年12月21日（水）～令和5年1月18日（水）

🌸 開催方法：YouTube 動画配信

🌸 演題・講師：講演『“自立”に向けていまでできること～学齢期から成人期への移行をスムーズに～』

— 株式会社「Kaizen」 代表取締役 鈴木 慶太氏 —

シンポジウム『成人期当事者の声』

— シンポジスト：成人期当事者（2名）・当事者の雇用主（2名） —

— コメンテーター：株式会社「Kaizen」 代表取締役 鈴木 慶太氏 —

🌸 参加者感想：

○障がいがある、なしでなく、その人の個性にあった関わりをされている社長さんがおられ、皆さんが気持ちよく仕事ができるのだろうなと感じました。心に残る言葉をたくさん聞かせていただき感動しました。

○現在の職場に出会う前の苦しいお話や未来に対しての不安を生々の声で聴かせていただいて、胸にくるものがあり、当事者の方たちのそうした不安に寄り添っていきたくと改めて思いました。

○障がい告知を受けてから、受け止めまでにかかなり時間がかかることに驚きました。保育・幼稚園、小学校の頃に告知を受けた子が自己理解できるまでの道のりは長く、厳しいものだと感じたと共に、周りの大人の共感と理解が大切だと思いました。

発達障害ナビポータル

発達障害ナビポータルとは、国が提供する発達障がいに特化したポータルサイトです。教育、福祉、医療・保健、労働等々、発達障がいに関する信頼のおける様々な情報が掲載されています。右のQRコードまたは『発達障害ナビポータル』で検索・アクセスすると、ご本人・ご家族向け／支援者向け／研修コンテンツ集／都道府県や指定都市の取り組み、データベース等々、様々な情報をご覧いただけます。

発達障害ナビポータル
QRコード



外国にルーツをもつ方向けに作られたパンフレットや新型コロナウイルス感染症関連情報、災害時の発達障がい児・者支援等々、わかりやすい情報が掲載されていますので、ぜひご活用ください。

作品広場

ウィッシュを利用されている当事者の方の作品です。作品に込められた思いとともにご紹介します。



🍀 撮影者名：maico さん

🍀 メッセージ：

「普段、スマホに撮りためている写真をこのように掲載してもらえて嬉しいです。

観てくださった方の心に少しでも響くものがありますように。」

🍀 作者名：W さん

🍀 メッセージ：

「絵本の表紙をイメージして描きました。うさぎの親子が月見の遠足に出かけたという設定で描いています。季節は秋で紅葉している山と月をちょっとした高台から眺めているシーンです。

ADHDです。小学2年生くらいから絵を描くことが好きで、裏紙などに落書きをしていました。大学時代に絵本の挿し絵を描いてみないかと誘われて、絵本の内容に合うような作画を心がけて描いています。」



～ お月見遠足 ～

そいつの名前は
嘉藤 周

そいつは人見知りなやつだ。気心知れた場所だけに現れて、畑の土を粉糖のかかったシフォンケーキみたいに覚えてしまう。はた迷惑なやつだ。

おまけに誰かに触られるのは嫌いな潔癖症で、わたしが触れたところから逃げるように去って行ってしまふ。わたしは何も汚いことなんてしていないのに、失礼な奴だ。

そいつは今、太陽っていう奴に恋をしているらしい。ところが彼が出てくる時間になると、恥ずかしくなってしまうってあつという間に姿を消してしまう。とんだ恥ずかしがり屋で、可愛い奴だろう？

ああ、そいつの名前は？
霜って言うんだよ。

🍀 ペンネーム：嘉藤周さん

🍀 メッセージ：

「高校時代に締め切りに間に合わせるため即席で詩を書いたのがきっかけです。自分の思いをそのまま文章にしました。

ペンネームを頻繁に変える癖があります。」

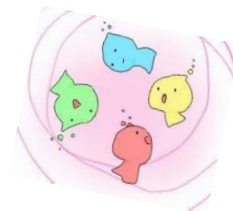
発行元：社会福祉法人 親和会 島根県東部発達障害者支援センター **ウィッシュ**

出雲相談室：出雲市大津町 1139 出雲合同庁舎内 1 階

松江相談室：松江市東津田町 1741-3 いきいきプラザ島根内 2 階

TEL：050-3387-8699 FAX：050-3730-9745

メール：wish@sazanami-g.jp



HPは
こちらから👉

